

事業所名

発達支援教室わかくさ武庫之荘北

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します。		
支援方針		・子ども達一人一人の特性を把握し、今何が必要であるかを小集団の中で探っていきます。 ・小集団での活動を行う為、お子様の発達度合いによってクラス編成も考慮しています。また、個々に合わせた個別課題を提供しており、「出来た！」という経験を何よりも大切にしています。 ・地域や移行先との連携を強化し、常に協力的な体制でいることを心掛けています。 ・自分の得意な事を褒められる事で、自分を好きになる。出来ないこと、苦手な事も小集団の中でならやってみようと思える。こうしたら出来る様になるんだと気付ける思い、そこに繋がるよう、一人一人に合わせた支援を職員間で意思統一をして取り組んでいます。		
営業時間		平日１４時００分（放課後）～１７時２５分／学校休校日１１時１５分～１７時１５分	送迎実施の有無	<div>あり</div> なし
		支 援 内 容		
		阪神特別支援学校クラス	地域の小学校クラス	
本人支援	健康・生活	○基本的な生活習慣を身につける トイレトレーニング、衣服の着脱、食事（スプーン、お箸等の使い方）、身だしなみ、部屋の片付け、掃除等 ○室内、戸外活動を取り入れ、心身のバランスの安定を育む ・クラスの特性に合わせた、心身の安定に必要な活動の設定 ・心身の安定を図る為の自由時間の設定	○基本的な生活習慣を身につける。 ・挨拶、トイレトレーニング、衣服の調節、身だしなみ、食事（お箸の使い方）、身の回りの整理整頓、交通安全等 ○自主的な活動設定を行い、心身のバランスの安定を育む ・スケジュールを確認し、次の行動を把握した上で過ごす ・自分の好きな活動を発信できる力を養う ・心身の安定を図る為の自由時間の設定	
	運動・感覚	○お子様、ご家族の意向に合わせた課題を設定し、個別課題に取り組んでいます。 手先の運動（運筆、シール貼り、手元を見て行う作業等）身体遊び（体幹、協調運動等）、感触あそび	○お子様、ご家族の意向に合わせた課題を設定し、個別課題に取り組んでいます。 手先の運動（運筆、シール貼り、ハサミ、のり、お箸あそび等）身体遊び（体幹、バランス遊び）ダンス、歌あそび	
	認知・行動	○学校や他機関との情報共有を行い、お子様に合わせた個別課題に取り組んでいます。 ひらがな、カタカナ、漢字、数字、足し算、引き算や言葉の促進（名詞、動詞、形容詞） ○スケジュールカード、絵カード、写真カード等の視覚支援	○学校や他機関との情報共有を行い、お子様に合わせた個別課題に取り組んでいます。 ひらがな、カタカナ、漢字、数字の概念、計算、言葉の促進（名詞、動詞、形容詞）、時計、音読、文の構成	
	言語コミュニケーション	○要求や、感情の表出方法の獲得 ・個々の発達度合いに合わせて、絵カード、表情カード、写真カードを用い言葉と動作や言葉の一致を目指す→表出方法を活用する ・マカトンや、兎のジェスチャーで表出	○言葉のコミュニケーションの促進 ・自分の思いを相手に伝える手段を身につける ・相手にも思いがあることを知る経験を重ねる	
	人間関係社会性	○対人関係の構築を図る ・大人との１対１の関わりから始め、安心できる環境の中で他者との関わりを構築する ○集団生活における、ルールやマナーを学ぶ ・公園遊び→地域の人や、友達と遊具の貸し借りの仕方を学ぶ ・お買い物体験、外食体験→自分の好きな物を選ぶ、買い物や外食の一連の流れを体験する	○自己肯定感の育み ・様々な活動を通して、自分の得意なことを大人と一緒に見つける ・他者と自分の違いに気づいた時に、自他を認める力 ○集団あそびを通して、他者との関係性を育む ・他者と協力して行う活動、トラブル時の気持ちの折り合いのつけ方 ○外出時のルールや、マナーを学ぶ ・お買い物体験、外食体験	
家族支援		・家庭での様子を送迎時や連絡ノート等で共有する ・日々の生活において、家庭での困りごとや本児の支援方法について連絡ノートや面談等で共有し解決策を一緒に考える		
地域支援・地域連携		相談支援室を通して、他療育施設や学校との支援内容を共有し、連携を図る		

移行支援	○ご家族への情報提供、移行先事業所との見学調整、情報共有（支援内容、支援方法）を行う ・小学校高学年～６年生時に、ご家族の方とご相談の上、系列事業所への移行を進めている ・中学生以降は系列事業所に完全移行	○進路選択についての本人及び、ご家族への相談援助 ○児童クラブとの平行利用先との情報共有、支援連携
職員の質の向上	・内部・外部研修を受講し、研修内容を職員間で共有し実践に繋げる ・定期的にケース会議を開き、支援内容について話し合う	
主な行事等	季節の制作や遊びを活動内容に取り入れる（正月遊び、節分、水遊び、ハロウィン、クリスマス等）	